

建設計画に係る令和2（2020）年度の実施事業に関する意見に対する対応調書

国分寺地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
国分寺地区	1	小規模ため池対策について	<p>平成30年7月豪雨により、2府4県で32か所のため池が決壊し、甚大な被害が生じました。決壊した32か所のため池のうち29か所が防災重点ため池に選定されていない小規模なため池でした。農林水産省は、これを踏まえ防災重点ため池の選定の考え方の見直しや、緊急時の迅速な避難行動につなげる対策、施設機能の適切な維持、補強に向けた対策について検討し、その結果を取りまとめたと聞いています。</p> <p>国分寺町内のこれらの小規模なため池について、高松市として、今後どのように、取り組んで行くのか、また地元で周知出来る工程も含めお示し下さい。</p> <p>自然災害環境に付きまして、昨年の7月豪雨を例にとると線状降雨帯が少しづれたら、どこでも大災害が発生する可能性があります。また南海トラフ巨大地震は、いつ起きても不思議でない時期に来ております。</p> <p>これらを考えますと、一刻も早くハザードマップを作成して頂く様、要望します。</p> <p>5万トン以上のため池ハザードマップにつきましては、高松市のご尽力により地元住民に示す事が出来ましたこと、感謝申し上げます。</p>	創造都市推進局	土地改良課	<p>平成30年7月豪雨により、多くのため池が決壊し、防災重点ため池でない小規模なため池で甚大な被害が生じました。これを踏まえ、国はため池対策検討チームを設置し、防災重点ため池の選定の考え方の見直しや、緊急時の迅速な避難行動につなげる対策、施設機能の適切な維持、補強に向けた対策について検討し、その結果を取りまとめました。</p> <p>その結果、防災重点ため池を見直しするとともに、緊急時の迅速な避難につなげる対策（ため池マップ・緊急連絡網・浸水想定区域図の整備、ため池データベースの充実、ため池防災支援システムの活用等）や施設機能の適切な維持、補強に向けた対策（保管理体制の強化、補強対策、ストックの適正化）が示されました。</p> <p>現在、防災重点ため池が再選定されたところであり、本市としましては、これらの取組を県と連携しながら進めていくこととしております。</p> <p>お問い合わせのありました、今後の取組とその工程でございますが、国が示した取り組みのうち、浸水想定区域図の整備につきましては来年度までに、緊急連絡体制の整備につきましてはため池管理者等が特定できるものについて年内に、整備するよう進めているところでございます。</p> <p>それ以外の取組につきましては、お示しできる工程はまだできていませんが、県と連携して取り組んでいく予定としております。</p>
国分寺地区	2	本津川洪水浸水想定区域図発表について	<p>県は今年3月26日に本津川の洪水浸水想定区域図を想定最大規模727mm/日と年超過確率1/50でそれぞれに、浸水継続時間、河川浸食による家屋倒壊等氾濫想定区域が発表されました。</p> <p>この想定図は北部のハザードマップには取込み住民の皆様には周知出来ますが、これでは本津川本流だけであり、県管理6支川については反映されておられません。</p> <p>これら6支川と本流を併せた洪水浸水想定区域図を作成するよう、要望します。</p>	都市整備局	河港課	<p>御要望の内容につきまして、県の担当部署に確認いたしましたところ、「現在は、水位周知河川について、想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成を進めており、水位周知河川以外の河川については、今後の課題として検討してまいりたい。」とのことでございました。</p> <p>今後とも、地元の皆様から寄せられました御意見等につきましては、適時適切に、県に伝えてまいりたいと存じます。</p>
国分寺地区	3	特別保育の事業概要について	<p>近年、少子化・核家族化の進行、ライフスタイルの多様化等により、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。今後、ますます保育事業の果たす役割は大きくなっていくと感じています。</p> <p>国分寺地区の特別保育事業は5つありますが、それぞれの事業の予算内訳及び事業内容についてお示しください。</p> <p>特別保育事業の中で「地域子育て推進事業」があるが、児童虐待防止の観点からも積極的に事業を推進していただくよう要望します。</p>	健康福祉局	こども園運営課	<p>本市の市立保育所等では、多様な保育需要に対応するため、特別保育事業を行っております。このうち国分寺地区での事業費の内訳と事業内容は、次のとおりです。</p> <p>特別支援保育事業 4,404千円 （保育所等に入所する障がい児を担当する職員の報酬等の費用）</p> <p>地域子育て推進事業 97千円 （在宅の児童が保育所等の子どもと触れ合ったり、行事に参加する費用）</p> <p>世代間交流事業 452千円 （地域の高齢者と遊びや食事などを通して交流を図る事業）</p> <p>障害児ふれあい事業 25千円 （在宅の障がい児と保育所等で交流を図る事業）</p> <p>保育体験事業 2千円 （中高生に保育所等で、子育ての体験の機会を提供してもらう事業）</p> <p>「地域子育て推進事業」については、公立では国分寺北部保育所で年間10回開催しており、今後も継続して実施するものです。</p>
国分寺地区	4	グリーンフェスタ国分寺の開催補助の今後のあり方について	<p>今年度のグリーンフェスタ国分寺は10月25～27日に開催します。また、今年度高松市が「(仮)高松盆栽の郷」を国分寺町国分にある国分寺盆栽センターにオープンすると聞いておりますが、今後、盆栽の郷ができることによりグリーンフェスタ国分寺の開催に影響があるのでしょうか。</p> <p>今後のグリーンフェスタ国分寺開催補助のあり方ともにお示しください。</p>	創造都市推進局	農林水産課	<p>高松盆栽の郷(仮称)については、国の地方創生推進交付金を活用し、平成29年7月に策定した「高松盆栽の郷」基本構想に基づく盆栽振興の拠点施設として、JA香川県が国分寺盆栽センター跡地に整備する予定となっております。</p> <p>今後は、引き続き地方創生推進交付金を活用し、鬼無、国分寺という枠組みを超えて、盆栽振興に取り組む必要があり、JA香川県等が中心となって実施してきた「グリーンフェスタ国分寺」についても、令和2年度からは、本年度末に竣工予定の拠点施設において、香川県盆栽生産振興協議会等の関連団体と協議しながら、新たな高松盆栽のイベントとして開催する必要があると考えています。</p>

建設計画に係る令和2（2020）年度の実施事業に関する意見に対する対応調書

国分寺地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針												
国分寺地区	5	JR端岡駅周辺を含む交通網の整備について	<p>昨年、JR端岡駅を高松市西部南地域におけるまちづくりの拠点とするため、駅舎機能と駅前広場・国道からのアクセス道路等を全体パッケージとして検討する基本構想を昨年度策定されると回答をいただきましたが、その結果についてお示ください。</p> <p>また、基本構想に続き、基本計画、詳細設計の順で検討するとお聞きしていますが、目途について分かる範囲でお示ください。</p> <p>みんなの病院の患者利用者数は、合併町6町（平成30年9月1日から平成31年4月末）で下記のとおりとなっています。</p> <table border="1"> <tr> <td>香南町</td> <td>4,070人</td> </tr> <tr> <td>香川町</td> <td>3,140人</td> </tr> <tr> <td>国分寺町</td> <td>604人（1カ月平均75.5人）</td> </tr> <tr> <td>塩江町</td> <td>415人</td> </tr> <tr> <td>牟礼町</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>庵治町</td> <td>9人</td> </tr> </table> <p>交通アクセスの影響が非常に大きいと思われるので、公共交通網の整備などの対策を考えていただくようお願いします。</p>	香南町	4,070人	香川町	3,140人	国分寺町	604人（1カ月平均75.5人）	塩江町	415人	牟礼町	78人	庵治町	9人	都市整備局	交通政策課	<p>JR端岡駅周辺の整備方針といたしましては、現在、駅舎や駅前広場、アクセス道路などをパッケージとして、一体的に整備することを検討しています。</p> <p>このうち、駅舎については、昇降施設の配置によるバリアフリー化と、現況施設にある駅務室やトイレの設置を基本としています。</p> <p>また、駅南側の駅前広場やアクセス道路については、バス路線の結節が大きく影響することから、見込まれる需要調査などと合わせ、検討していくこととしています。</p> <p>なお、昨年度は、駅周辺住民の方などを対象に、駅の利用意向に関するアンケートを実施したところであり、本年度は、このアンケート結果や整備方針などを踏まえ、駅舎施設等の具体的な整備内容や資金計画を盛り込んだ基本計画を策定することとしております。</p>
香南町	4,070人																	
香川町	3,140人																	
国分寺町	604人（1カ月平均75.5人）																	
塩江町	415人																	
牟礼町	78人																	
庵治町	9人																	
国分寺地区	6	国分寺冬のまつり 国分寺町まつりについて	<p>2年連続予算減の後、今年度は前年度と同額でよかったとは思いますが、今後引き上げられるかもしれない消費税などを考慮すると増額も検討していただきたい。他地区との兼ね合いもあるとのことですが、開催状況（来場者数、規模など）も考慮して検討してほしい。</p> <p>前回も述べましたが、自分たちの手でできることは自分たちで行い支出を抑え、企業等からの寄付金で収入を増やす努力はしていますが、それも限界があります。金額での増額が難しいのであれば、会場となる橋の丘総合運動公園の利用料の免除や、以前のように平日の準備片付け時の職員派遣なども検討してほしい。</p> <p>両まつりとも中学生がボランティアで参加する社会貢献活動の場、冬のまつりにおいては多くの地域住民がボランティアスタッフとして参加する地域住民（高齢者含む）の居場所ともなっている。そういった意味では、観光振興だけでなく、子供の成長支援や地域間交流の促進といった面からもサポートしてほしい。</p> <p>予算が実行委員会ではなく、まちづくり交付金としておいてくるかもという話を耳にすることがありますが、やめてほしい。音の祭り（おそらく史跡まつりやグリーンフェスタも？）も同様ですが長年、実行委員会として築いてきたものがあるので直接の助成をお願いします。</p>	創造都市推進局	観光交流課	<p>観光イベント等に対する補助金につきましては、財政状況が非常に厳しい中、今年度も第7次高松市行財政改革計画に掲げておりますように、高松市補助金等交付システム見直し基準や、その他、予算編成方針等、関連する計画や方針等に基づき、各イベントにおける事業費の削減を図るとともに、広告や協賛金を始めとする収入の増加を促進し、補助金額の見直しを検討することとしております。支出の抑制、寄付金等収入源の増に引き続き、努めていただくとともに、限られた財源の範囲で開催できるまつりの規模、内容等の見直しも含め、検討いただきたい。</p>												
国分寺地区	7	国分寺地域保健活動センター 駐車場について	<p>国分寺地域保健活動センターの施設管理業務は、町内の団体で構成された国分寺地域保健福祉活動協議会に平成30年4月から委託されている。</p> <p>同協議会が管理業務委託を受けるための条件として「高齢者の居場所作り」「世代間交流活動」などの事業を実施していくこととなり、それらを実施するには現在の駐車場（約10台分）では不足している状況である。</p> <p>そのため、以前のように隣接する駐車場の借上げを保健センターにお願いしたが、無理との回答であった。</p> <p>このため、現状は、駐車場の土地所有者の好意で協議会が格安で借りているが、その費用は業務委託費（人件費）を削って捻出している。相場より格安と言え、財政的な圧迫は大きい。</p> <p>「高齢者の居場所作り」は月～金曜の毎日実施。その他、子どもとの交流事業、料理教室、講座 等が不定期に開催され、平均参加数は15人～40人ぐらい。多いときは70名ほどになる。昨年1年間を通し、実際にその駐車場がなければ 事業の開催が困難であった。</p> <p>よって、既存の施設を使って、「高齢者の居場所作り」事業等を円滑に実施して、地域の活動の場としていくには、以前のように隣接の駐車場を高松市が直接借りてくれることを要望します。</p>	健康福祉局	保健センター	<p>「高松市公共施設再編整備計画 1次」では、施設維持経費の最小化と、利用の最大化を図ることとされており、有効活用が図られない施設は廃止や売却を含めて検討すべきとの考えが示されているところでございます。</p> <p>保健センターでは、国分寺地域保健活動センターが、廃止や売却という結論にならないよう、地域審議会等を始めとして、地域の様々な方と協議してきたところでございますが、同センターにつきましては、当初から、施設規模に応じた事業実施において利用を認めていた経緯がございましたことから、これまで本市による駐車場の借り上げにつきましては、お断りしてきたところでございます。</p> <p>しかしながら、今後におきましても、地域の健康づくり等の活動拠点として、利活用していただきたいと考えておりますので、現在の利用状況を踏まえるとともに、本市の財政状況を勘案する中で、最善の対応策を検討してまいりたいと存じます。</p>												